



真栄産業
株式会社

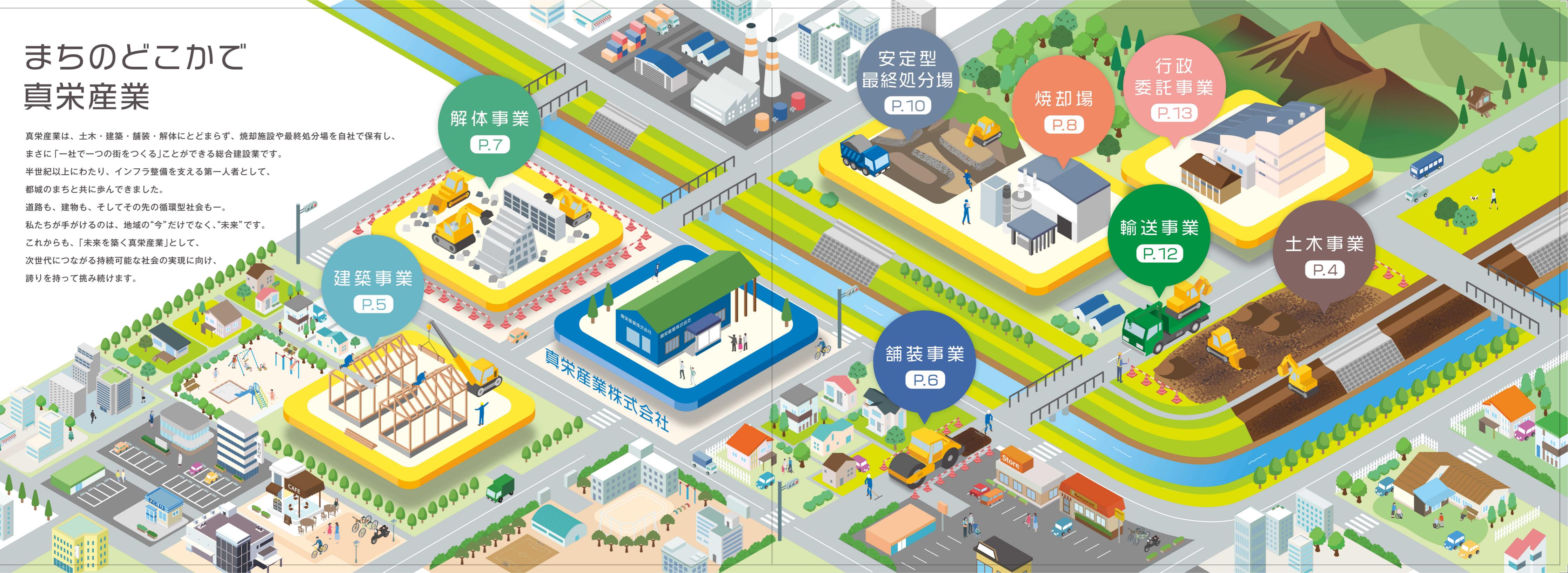


SHIN-EI SANGYO

真栄産業株式会社

まちのどこかで 真栄産業

真栄産業は、土木・建築・舗装・解体にとどまらず、焼却施設や最終処分場を自社で保有し、まさに「一社で一つの街をつくる」ことができる総合建設業です。半世紀以上にわたり、インフラ整備を支える第一人者として、都城のまちと共に歩んできました。道路も、建物も、そしてその先の循環型社会もー。私たちが手がけるのは、地域の“今”だけでなく、“未来”です。これからも、「未来を築く真栄産業」として、次世代につながる持続可能な社会の実現に向か、誇りを持って挑み続けます。



土木 事業

CIVIL ENGINEERING

人々の暮らしや安全を守る
インフラを整備する



道路、河川、橋梁、土地造成、防災・災害復旧工事など、建物以外の建設工事を行っています。
人々の普段の生活の質や安全性を向上させることは言うまでもなく、
災害が発生した際に現場に駆けつけて対応し、地域の発展・復興に貢献しています。

施工実績

■ 大蔵橋



■ 最終処分場調整池



■ 都城運動公園サブグラウンド



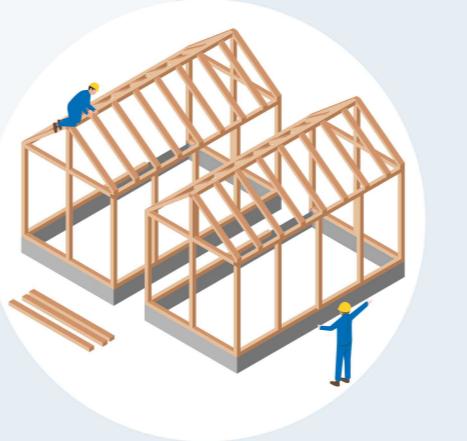
■ 山田川護岸工事



建築 事業

CONSTRUCTION

住宅、商業施設や
畜産関連施設など
様々な建築工事に対応



新築、増築、補修、建物基礎工事などお客様の用途に応じた建築工事を行っています。
当社では機能性だけでなくデザイン性にも気を配り、
地域の魅力を高めるような建築物の創造を心がけています。

施工実績

■ JA みやざき山田第二農場



■ 新宮崎県陸上競技場



■ 都城市山之口総合支所



■ mallmall まちなか交流センター



舗装事業

PAVEMENT

人や車が快適、安全に
通行できる道を整備する



国道、県道、市道などの公共道路や、駐車場などの民間施設に
碎石やアスファルトを敷均、締固める舗装工事を行っています。
舗装工事は地域住民のライフラインを守り、安全な交通環境を維持する重要な役割を担っています。
当社では、交通の安全性の確保、自然災害からの保護はもちろんのこと、景観の美しさにもこだわっています。

施工実績

■ 都城志布志道路



■ 民間企業駐車場



■ JAみやざき農場内舗装



■ 都城盆地朝霧ロード



解体事業

DEMOLITION

「壊す」だけで終わらない、
循環型解体工事



一般家屋から、鉄骨・RC造の大型施設、ビル、外構まであらゆる建築物の解体工事に対応しています。
自社に産業廃棄物中間処理施設、最終処分場を備えており、解体で発生した廃材は適切に分別・再資源化し、
再生碎石として、土木・建築・舗装など自社の各事業へと再利用しています。
解体から循環へ。循環型社会に向けた、持続可能な解体工事を推進しています。

施工実績

■ 鉄筋コンクリート造



■ 鉄骨造畜舎



■ 木造民家



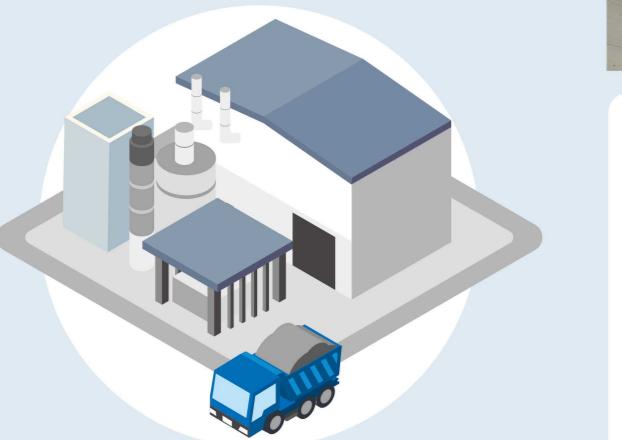
■ 鉄骨造店舗



焼却場

INCINERATION PLANT

県内でもトップクラスの
規模を誇る焼却炉を保有



許可品目									
〈具体例〉									
●汚泥	●ゴムくず	●動植物系固体不要物	●企業から排出される産業廃棄物	●・コロナ禍で使用された手袋や注射器					
●廃油	●金属くず	●コンクリートくず	・と畜や解体された獣害等による不要物、	・動物の死体					
●廃酸	●ガラスくず	及び陶磁器くず	・動物のふん尿・死体	●特別管理産業廃棄物					
●紙くず	●廃アルカリ		・(養豚場火災後の死体処理実績あり)	・太陽光パネル					
●木くず	●廃プラスチック類		・フロンガス						
●繊維くず	●動植物性残さ								

多様な廃棄物に対応する焼却施設「真栄ファイナルファクトリー 焼却プラント」。
産業・医療・畜産系廃棄物やフロンガスまで、確かな技術で安心・適切に処理します。



1 「真栄ファイナルファクトリー焼却プラント」 6つの強み

01 畜産業を支える焼却体制

畜産業が盛んな都城市を支えるため、畜産業から排出される廃棄物に特化した焼却体制を構築。過去に発生した火災時には、大量の家畜を迅速かつ安全に処理し、地域の衛生環境を守りました。

02 医療廃棄物も 安心・適切に処理

感染症リスクを伴う医療廃棄物も、厳格な管理体制のもとで安心かつ適切に焼却処理。大手病院からの信頼を受け、地域医療を支えるパートナーとして、安心・衛生を徹底し、医療現場の安心を守り続けています。

03 九州でも数少ない フロンガスの 破壊処理に対応

地球温暖化対策として不可欠なフロンガスの破壊が可能。破壊証明書の発行により、排出事業者様のコンプライアンス対応も強力にサポート。

2
TOPICS
排熱を有効活用し、
バナナやマンゴーなどを
ハウス栽培する
新プロジェクトを開始！

処理過程で発生する熱エネルギーを再利用することで、環境負荷を軽減しつつ、地域の特産品を生み出す取り組みです。これまで輸入に頼っていた果物を地域内で生産できるようになるため、地元消費者への供給はもちろん、観光客向けの販売や地域の活性化にもつながると期待されます。このプロジェクトを通じて、資源の有効活用と地域農業の新たな可能性を追求し、持続可能な未来の実現を目指します。



04 災害時にも力を發揮

非常時にも安定した処理能力を確保。地域インフラの一翼を担う「災害に強い焼却施設」として機能。浸水被害にあった地域全体の畠や、停電により廃棄となった大量の冷凍食品を処理した実績があります。

05 環境負荷を抑える設計

高性能な排ガス処理装置を備え、大気汚染物質の発生を最小限に抑制。地域の環境を守り、未来の子どもたちに清らかな空気を残すため、私たちは常にクリーンな焼却を追求しています。

06 働く人にもやさしい 運営体制

2交代制・仮眠室完備の快適な勤務環境を整備。高品質なオペレーションを継続的に実現。

安定型 最終処分場

LANDFILL SITE

県内トップクラスの
約700,000m³の
埋設容量を有す



TOPICS

埋立地に降った雨水は全て回収し、敷地内の調整池にて適切に保管・管理。徹底した処理を行い、国の基準を上回る水準まで浄化した上で、一般河川へ安全に放流しています。限りある水資源を守り、自然の循環を壊さない。私たちは、環境と調和する処理体制を通じて、次世代の未来へつながる社会づくりに取り組んでいます。



再生 リサイクル 生産

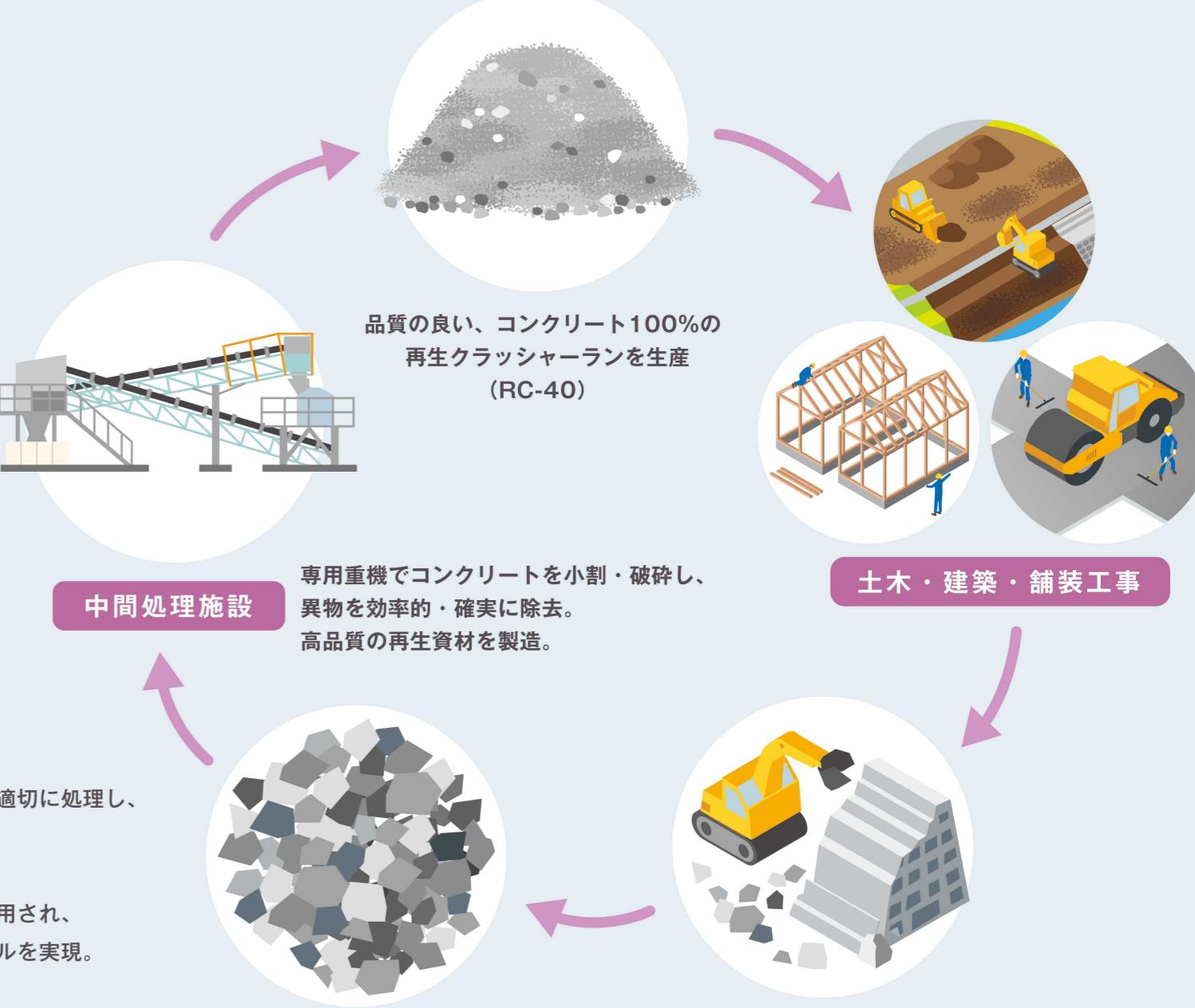
MATERIAL RECYCLING

循環型施工リサイクルで
環境に優しく資源を活用

中間処理施設

当社では、土木・建築・舗装・解体の各部門から発生するコンクリート廃材を適切に処理し、自社で再生クラッシャーランとして新たな資材を製造しています。この再生資源は、再び各現場の工事に活用され、廃材を無駄にしない循環型施工リサイクルを実現。環境保全に貢献しながら、効率的でエコな施工を目指します。

作業で排出されたコンクリート



TOPICS

輸送事業

TRANSPORTATION

あなたの現場に、確実に。
安全・迅速な輸送をお約束



セルフ

中型機材の運搬に
適しています



トレーラー

大型重機や長尺物の
運搬に適しています



5tユニック

狭い現場への重機搬入に
適しています

対応重機

建設業で一般的に使用される
重機はすべて運搬可能！

アスファルトフィニッシャー、ローラー、
バックホウ、フォークリフトなど

TOPICS

10tダンプ



当社では10tダンプを複数台保有しており、
各現場で日々稼働しています。
自社での運用に加え、チャーター便として他社からの運搬依頼にも
柔軟に対応し、迅速かつ確実な輸送体制を整えています。
特に災害時には、こうした機動力が強みとなり、
緊急対応や復旧支援にも大きく貢献しています。

行政委託事業

都城市 リサイクルプラザ"さいせい館"

RECYCLING FACILITY

平成27年度より指定管理者として、運営、維持管理を行っています。
資源ごみや不燃ごみ、粗大ごみの分別、再資源化の他、不用品の補修や再生品の
展示販売などを行っています。
単なるごみ処理施設としてだけでなく、施設見学の受け入れなど住民参加型の施設として、
ごみ処理についての普及啓発の役割も担っています。

施設概要

- 事業主体 都城市
- 構成市町 都城市 三股町
- 敷地面積 41,667m²
- 延床面積 12,321m²
- 構 造 鉄筋コンクリート
- 工 期 平成15年7月～平成17年3月

- 処理対象
一般廃棄物の不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、
[資源ごみ] 茶色びん、その他白びん無色びん、
缶、ペットボトル、白色トレイ
[有害ごみ] 蛍光灯、乾電池



都城市 一般廃棄物最終処分場

FINAL DISPOSAL SITE

当社保有のほか、都城市から委託を受け、「一般廃棄物最終処分場」の管理・運営も行っています。
直接搬入ごみ、不燃残渣、焼却灰、浄化施設残渣等を受け入れています。

会社概要

会社名	真栄産業 株式会社
代表者名	代表取締役 上岡 康人
資本金	2,000万円
所在地	宮崎県都城市神之山町4824番地
創業	昭和43年
従業員数	100名
認可一覧	特定建設業 宮崎県知事許可(特一3)第6620号 一般建設業 宮崎県知事許可(般一3)第6620号 産業廃棄物処分業 宮崎県知事許可番号第04543023989号 産業廃棄物収集運搬業 宮崎県知事許可番号第04513023989号 一般貨物自動車運送業 九運貨物第626号 主な取引先 宮崎県、都城市 主な事業内容 特定建設業(土木、解体、建築、舗装工事業)、 産業廃棄物収集運搬処分業、フロン類破壊業
有資格技術者	1級建築士 2級建築士 1級土木施工管理技士 2級土木施工管理技士 1級建築施工管理技士 2級建築施工管理技士 1級建設機械施工技士 2級建設機械施工技士 1級舗装施工管理技術者 2級舗装施工管理技術者 建設業経理事務士1級 建設業経理事務士2級 解体工事施工技士 産業廃棄物焼却施設技術管理士 一般建築物石綿含有建材調査者 破碎・リサイクル施設技術管理士 工作物石綿事前調査者 最終処分場技術管理士

認証・取得

品質マネジメントシステム
ISO9001:2015
認証範囲 土木工事(舗装・河川・橋梁・造成・道路・下水道等)
登録認証番号 C2022-03165
認証機関 ベリージョンソンレジストラー



環境マネジメントシステム
ISO14001:2015
認証範囲 土木工事(舗装・河川・橋梁・造成・道路・下水道等)
登録認証番号 C2022-03166
認証機関 ベリージョンソンレジストラー



労働安全衛生マネジメントシステム
ISO45001:2018
認証範囲 土木工事(舗装・河川・橋梁・造成・道路・下水道等)
登録認証番号 C2022-003167
認証機関 ベリージョンソンレジストラー



会社沿革

1974年 8月	創業
1980年 1月	有限会社 真栄産業へ 組織変更
1982年 12月	一般建設業許可取得【宮崎県知事許可 第6620号】
1989年 9月	産業廃棄物処分業許可取得【許可番号 第04543023989号】
1992年 9月	産業廃棄物収集運搬業許可取得【許可番号 第04513023989号】
1994年 12月	真栄産業 株式会社へ 組織変更
1996年 1月	産業廃棄物処理業 中間処理業の追加【許可番号 第04543023989号】
1997年 12月	特定建設業許可取得【宮崎県知事許可 第6620号】
2001年 5月	一般財団法人日本品質保証機構よりISO9001取得
2002年 10月	産業廃棄物収集運搬業許可取得【鹿児島県知事許可 第04604023989号】
2004年 4月	一般廃棄物処分業許可取得
2004年 4月	一般廃棄物収集運搬業許可取得
2005年 11月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得【許可番号 第04553023989号】
2006年 9月	一般財団法人日本品質保証機構よりISO14001取得
2019年 4月	クリーンセンターごみ搬入許可取得
2019年 8月	一般財団法人日本品質保証機構よりISO45001取得
2021年 9月	真栄ファイナルファクトリー新焼却施設の稼働
2021年 11月	特別管理産業廃棄物処分業許可取得【許可番号 第04573023989号】
2021年 11月	特別管理産業廃棄物収集運搬業 感染性産業廃棄物 取扱項目追加【許可番号 第04553023989号】
2022年 11月	再生クラッシャーラン(RC-40)が「みやざきリサイクル製品」の認定を取得
2023年 2月	2021年度九州・沖縄業績好調企業「元気印」本県38社中第6位
2023年 11月	真栄ファイナルファクトリー新再生プラント稼働
2024年 2月	フロン類破壊業許可取得【許可番号 2023H0125】
2024年 9月	都城土木事務所長賞 受賞
2024年 9月	産業廃棄物処分業 優良基準適合認定
2024年 9月	産業廃棄物収集運搬業 優良基準適合認定
2024年 12月	公益社団法人全日本トラック協会 安全性優良事業所認定【認定番号2499124号】

グループ会社

・株式会社山崎紙源センター

宮崎市橘通西5丁目6番57号山崎ビル5階

・有限会社ペーパーリサイクルシステム

宮崎市花ヶ島町柳ノ丸499-1

・株式会社YKプランニング

宮崎市橘通西5丁目6番57号山崎ビル5階

・株式会社ピクチャープラス

宮崎市江平東町6番地13

・株式会社九州環境ネットワーク

熊本県熊本市東区戸島町2552番地

・JSR-NET

宮崎市花ヶ島町柳ノ丸499-1

・株式会社山崎ビル環境サービス

宮崎市柳丸町32番地

・山崎株式会社

宮崎市橘通西5丁目6番57号

・山崎事務機株式会社

宮崎市橘通西5丁目6番57号山崎ビル6階

・有限会社金田商店

宮崎市村角町原口2633

社会貢献

野球場のグラウンド造成現場に

地元少年野球チームを招待

野球場グラウンド造成工事において、地元の少年野球団

280名を現場に招待しました。

グラウンドの水はけを良

くするための排水構造や、ピッチャーマウンドや各ベ

ースの位置・高さに関する技術的な工夫など、実際の施工

現場で体感できる学びの場を提供しました。

未来の選手たちに、よりよいプレー環境を届けるとともに

、建設の仕事がスポーツの舞台を支え、地域の未来を形づくっていることを伝える貴重な機会となりました。



小学校での出前授業

学校周辺での工事を行うにあたり、地域の小学校にて出前授業を行っています。毎日歩いている歩道がどのような材料・構造でできているのかをわかりやすく説明し、建設業と日本の発展の歴史的関わりについても紹介しました。さらに、運動場のくぼみの整地や黒板の交換、扉の修繕など、現場の技術を活かして学校環境の整備も丁寧に行っています。



自然災害への緊急対処

私たちは地域のインフラをつくるだけでなく、自然災害時には一刻を争う現場にいち早く駆けつけ、命と暮らしを守る力となります。土砂崩れ・道路の寸断・河川の氾濫などの被害に対し、状況を即座に判断し、安全確保から応急復旧、そして再建へとつなげます。被災直後の対応から長期的な防災対策まで、「地域の守り手」として災害に強いまちづくりに全力で取り組んでいます。

